

Subject : **Japanese**Production of Courseware
e- Content for Post Graduate Courses

Paper No. 02 : 日本語学 (Japanese Linguistics)

Module 19 : 主題 (Topic of the Sentence)



ज्ञान-विज्ञान विमुक्तये

**Development Team****Principal Investigator:****Prof. Anita Khanna**

Jawaharlal Nehru University, New Delhi

Paper Coordinator:**Prof. Prashant Pardeshi**

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Writer:**Prof. Hisashi Noda**

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Reviewer:**Prof. Shingo Imai**


University of Tsukuba

Japanese

Japanese Linguistics

主題 (Topic of the Sentence)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	主題 (Topic of the Sentence)
Module ID	JPN-P02-M19
Quadrant 3	Learn More

 **Pathshala**
पाठशाला
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

主題 (Topic of the Sentence)

Quadrant 3: Learn more

さんこうぶんけん

参考文献

久野 暲 (1973) 『日本文法研究』大修館書店.

日本語記述文法研究会 (編) (2009) 『現代日本語文法 5 第 9 部 とりたて 第 10 部 主題』くろしお出版.

野田尚史 (1985) 『はとが』(日本語文法セルフ・マスターシリーズ 1), くろしお出版.

野田尚史 (1996) 『「は」と「が」』(新日本語文法選書 1), くろしお出版.

三上章 (1960) 『象は鼻が長い』くろしお出版.

Kuno, Susumu (1973) *The Structure of the Japanese Language*. MIT Press.

Interesting facts

せかい げんご なか にほんご おな とくてい けいたい しゅだい あらわ
 世界の言語の中には、日本語の「は」と同じように特定の形態によって主題を表す
 おお げんご かんこくご ご ご かんこくご しいん
 ことが多い言語がある。韓国語やアイヌ語、ビルマ語などである。韓国語では、子音で
 お めいし ぼいん お めいし つ しゅだい あらわ
 終わる名詞には「un」、母音で終わる名詞には「nun」を付けて主題を表す。アイヌ
 ご しゅだい あらわ ご しゅだい あらわ
 語では、「anak」で主題を表し、ビルマ語では「anakne」で主題を表す。

とくてい けいたい しゅだい あらわ げんご しゅだい
 「は」のような特定の形態によって主題を表すことがあまりない言語では、主題を

ぶん まえ お ごじゅん しゅだい あらわ おお ご
 文の前のほうに置くという語順によって主題を表すことが多い。たとえばスペイン語

では、主題を持たない文では、(1) のように主語が動詞の後に置かれる。主語が主題に

なっている文では、(2) のように主語は動詞の前に置かれる。

(1) Ayer vino Carlos.

きのう 来た カルロス (きのうカルロスが来た。)

(2) Carlos vino ayer.

カルロス 来た きのう (カルロスはきのう来た。)

英語では、語順によって主題を表すことが少ない。主題を持つ文でも、主題を持たない文でも、主語が動詞の前に置かれるため、主題を持つ文か主題を持たない文かの見分けがつかない。ただし、(3) のように主語が動詞の後に置かれることがある。このような語順の文は珍しいが、このような語順であれば、この文が主題を持たない文であることがわかる。

(3) Standing there was my brother. (久野 (1973))

(そこに兄が立っていた。)
